



04
げつようび

ぜったい けいやくの なかに ある いのりの かだい

使徒
19章 21節

これらのことが一段落すると、パウロは御霊の示しにより、マケドニアとアカヤを通ったあとでエルサレムに行くことにした。そして、「私はそこに行ってから、ローマも見なければならぬ」と言った。

パウロは迫害者でした。彼はある日、ダマスコで福音を悟ります。そのとき、神様が自分を異邦人と王たちに福音を伝えるために呼ばれたことを知るようになります。その瞬間からパウロはアンテオケ教会を中心に異邦人に福音を伝え始めました。パウロの最後の目標は、ローマとローマ皇帝に福音を伝えるということでした。それゆえ、ローマ福音化はパウロにとって「絶対契約」になりました。

レムナントとして新芽の時期を送る私たちは、まだ小さいです。そんな小さな私たちでも、パウロのように、私の契約を握れば、その中に神様が隠された祈りの課題を発見することができます。「間違ったものを握ったらどうしよう」と心配する人もいます。それでも大丈夫です。神様が先に私を守って、分らせてくださり、直してくださるでしょう。絶対に落胆することも、心配することも必要ない理由がここにあります。今日から神様がくださる絶対契約を握るように祈りましょう。神様は、私たちが祈りを始める瞬間から、パウロのように勝利させてくださいます。



きょうのみことば

Blank lined area for writing the daily verse.



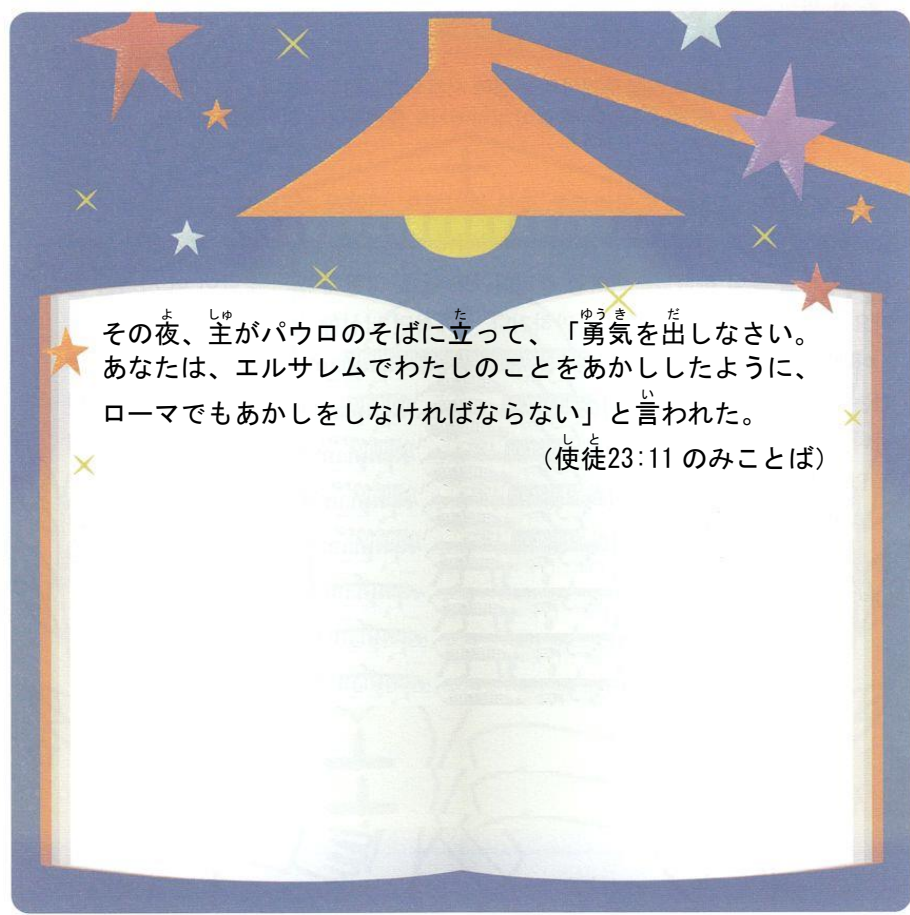
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。パウロのように絶対契約を握って、祈りで勝利するレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

神様が喜ばれる絶対契約を握っていたパウロのように、導かれるように祈りながら、下のみことばを書きましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

Grid area for writing the daily devotion.

じゅんび
準備する資料

Blank lined area for writing preparation materials.

05

かようび

かみさまの きじゅんで

使徒
23章 11節

その夜、主がパウロのそばに立って、「**勇気を出しなさい。あなたは、エルサレムでわたしのことをあかししたように、ローマでもあかしをしなければならぬ**」と言われた。

神様はすべての人にタラントを与えられました。契約をくださる方も神様です。つまり、成功と失敗の基準は、すべて神様にあります。これは私たちのすべての基準は、神様にだけあるという証拠でもあります。ところが、多くの人が、この事実を知りません。それゆえ、人々は成功すればうぬぼれて、失敗すれば落胆するしかありません。

そのような中で、神様が私たちを神様の基準で成功するレムナントとして呼ばれました。それゆえ、私たちは神様がくださった絶対契約を握って導きを受けなければなりません。すると、パウロとともにおられた神様が、私たちとともにおられるので、神様の基準である世の中を生かす25時の成功をくださいます。このように、神様がくださる成功を持つ人を指して私たちがモデルと言います。

世の中で受けた成功ではモデルになることはできません。この事実を覚えて、神様がくださるまことの成功のモデルになるように、あらかじめ見て祈りましょう。世の中を生かす福音のモデルとして、私のタラントが、すべての人を生かすことに用いられるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。まず福音のモデルになって、神様がくださるまことの成功のモデルになるように祈ります。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



いろをぬろう

隠されていた福音のモデルのアナニヤは、出会ったパウロに神様だけが与えることのできるまことの成功を伝えました。二人の姿に色をぬりましょう。私にも出会いの祝福が臨むように祈りましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
しりょう
準備する資料

Grid area for writing names and preparation materials.

06

すいようび

かみさまが くださる えいえんを あじわおう

使徒

27章 24節

こういいました。『おそれはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの
まえに立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお
与えになったのです。』

サタンのしわざを打ちこわすために来られたイエス様が十字架でその働きをすべ
て完了されました。そして、イエス様を受け入れたすべての人に神の子どもとされ
る特権を与えてくださいました。このように、神の子どもになれば、たとえ御使いで
あっても変えることのできない神の子ども身分と権威を味わうようになります。
それと同時に、神様の特別な導きを受けることができます。これがレムナントの持
つ永遠の背景です。それなら、レムナントが導かれるためにはどうすればよいので
しょうか。私たちの教会で宣言される聖日の講壇のみことばを握ればよいのです。
その中でも、私の心とたましいにくださる神様のみことばに耳を傾けましょう。
はじめは難しいかもしれませんが、しかし、祈っているとやがて私にくださる神様の
みことばが聞こえるようになります。

聖日に受けたそのみことばを握って毎日<子どもの祈りの手帳>のみことばを黙想
して、定刻祈りをしてみましょう。ときには集中して祈ってみましょう。すると、
ある日、一日中神様だけを見上げる祈りにつながります。そのとき、神様がレムナ
ントに与えたみことばによって、私たちの見ること、聞くこと、経験するすべてが
つながる祈りができるようになります。このように神様がくださった永遠を味わえ
ば、パウロのように、どこでも祈りで勝利するキリストの証人になるでしょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神の子どもらしく聖日にくださった講壇のみ
ことばで今日も細かく導かれますように。生きておられるイエス・キリス
トのお名前によってお祈りします。アーメン



きょうのみことばをもう一度黙想しながら、()にことばを
入れましょう。

かみこどもになれば、()も変える
ことができない()と
()を味わうようになります。

かみさま
神様の()を受ける()は
きょうかい
教会で()される
せいじつ
聖日の()のみことばを聞くことです。

()のみことばから、私()と
()にくださる神様のみことばを
き
聞けばよいのです。

()のみことばを黙想して
()もしましょう。

()の証人になるでしょう。

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料

07

もくようび

がっこうを かえる いのり

使徒

19章 8~12節

しかし、ある者たちが心をかたくなにして聞き入れず、会衆の前で、この道をののしただので、パウロは彼らから身を引き、弟子たちをも退かせて、毎日ツラノの講堂で論じた。これが二年の間続いたので、アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことは聞いた。(9~10)

私たちは小学校、中学校、高等学校に通うことによって、社会で生きていくために必要な基礎知識と対人関係について学びます。学校に通いながらしっかりと学ぶことによって、世の中と疎通するための困難が少なくなります。こうした重要な過程を助けてくださる先生は、私たちの教育のために訓練を受けた人です。ところが、そのような先生たちも傷と霊的問題を持っています。教室で一緒に授業を受ける友達も同じです。

だれも完ぺきな人はいません。しかし、私たちは時々福音を知らない先生や友達と同じ時間を過ごす中で困ったことにぶつかることがあります。そのときには、私たちが世界福音化の働き人として成長させるために、すべての人とすべての環境を神様が準備されたという事実を覚えましょう。

これからは神様に学校生活で出会うすべてのことは、私が成長するために必要な神様の道具であるという信仰を求めて祈りましょう。この祈りが毎日続く学校現場で神様に導かれるすてきなレムナントになりましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。世界福音化のために私が遣わされている学校で、この世に出て行く訓練を受けて、祈りの中で導かれますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



さんびしょう

『キオク!』

作詞：イ・ファンヒ
作曲：イ・チャンミ

♩=105

A B/A G#m C#m

『キオク!』 みぶんとけんいー 『キオク!』

4 A B/A G#m7 C#7 A B/A G#m7 C#m7

成就のけいやくー みえるせかいだけじゃないーでっ
よみがえりの主いーまもーとも

8 F#m7 B7sus4 E B6/D# G#dim/D C#7

1. かいしゅくぶく見ようー じゅうじかすべてかんにょうーす
におられるよ



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料



レムナントが すべき こと

12 F#m7 B7 E EM7 E7 A B/A G#m7 C# C#/F

べておわらせた - けい やくにしゅうちゅう ちがうかんがえと

16 F#m F# B7sus4 E

さ よ ならし よう - 『キ オ ク!』 -



さあ、降りて行って、そこでの彼らのことばを混乱させ、彼らが互いにことばが通じないようにしよう。」こうして主は人々を、そこから地の全面に散らされたので、彼らはその町を建てるのをやめた。(7~8)

創世記
11章 1~8節

世の中には、科学や医学では解決できない問題がたくさん起こっています。このような問題は、科学や医学の発展によっていつかは解決できるだろうと思われていたのですが、むしろさらに難しい問題を招く結果となりました。そのために、ますます複雑になった心と考えは、苦しみの中で生きる人の数をさらに増やしました。この問題はすべて霊的問題ゆえに起きていることです。多くの方がこの問題を作ったサタンのことがわからないまま苦しみを味わっています。サタンが作った罅、落とし穴、わなはとても巧妙です。しかし、霊的知識があるレムナントならば解決できます。それゆえ神様は、この問題の責任は教会とレムナントにあるとおっしゃっています。

今日から私に福音の力を知る恵みをくださいと、神様に祈りましょう。サタンがもたらした霊的問題のゆえに起きる世の中の問題を解決する奥義は、ただ福音の力にあるからです。祈りで福音の力を味わって、世の中が知らない霊的問題を解決するレムナントとしての小さな決断を始めましょう。



ようのみことば



よういのり

神様、ありがとうございます。世の中が知らない霊的問題を福音の力によって祈りで解決する準備ができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



ようのでんどう

あひと 会う人

じゅんび しりょう 準備する資料

じだいを いかす しんでん

【歴代】
29章 14節

まことに、私は何者なのでしょう。私の民は何者なのでしょう。このようにみずから進んでささげる力を保っていたとしても。すべてはあなたから出たのであり、私たちは、御手から出たものをあなたにささげたにすぎません。

イスラエルの民は、エジプトの奴隷になる前からすでに奴隷状態でした。さらには、エジプトから出てくる時も、荒野の道でも霊的には奴隷のままでした。当然、難しくならざるをえません。そのとき、神様が彼らに幕屋を作りなさいと言われました。あまりにも難しい状況に置かれたイスラエルの民が、霊的部分を回復するために与えられたみことばでした。

今、私たちも苦しく難しい時代を生きています。このとき、神様は私たちに神殿建築を命じられました。重要な契約を握って、すべてを回復する聖霊の力を回復しなさいとおっしゃっているのです。聖霊の力を回復するとき、福音を握った次世代が起きて、時代ののろいとわざわいを止めると言われています。私たちの生涯を通して最初で最後の機会になる神殿建築について、神様は足りないことのないように光の経済を回復してください。

時代を生かす神殿がたてられるように祈って、私にできる小さなことから少しずつ挑戦を始めましょう。



どうぶのみことば



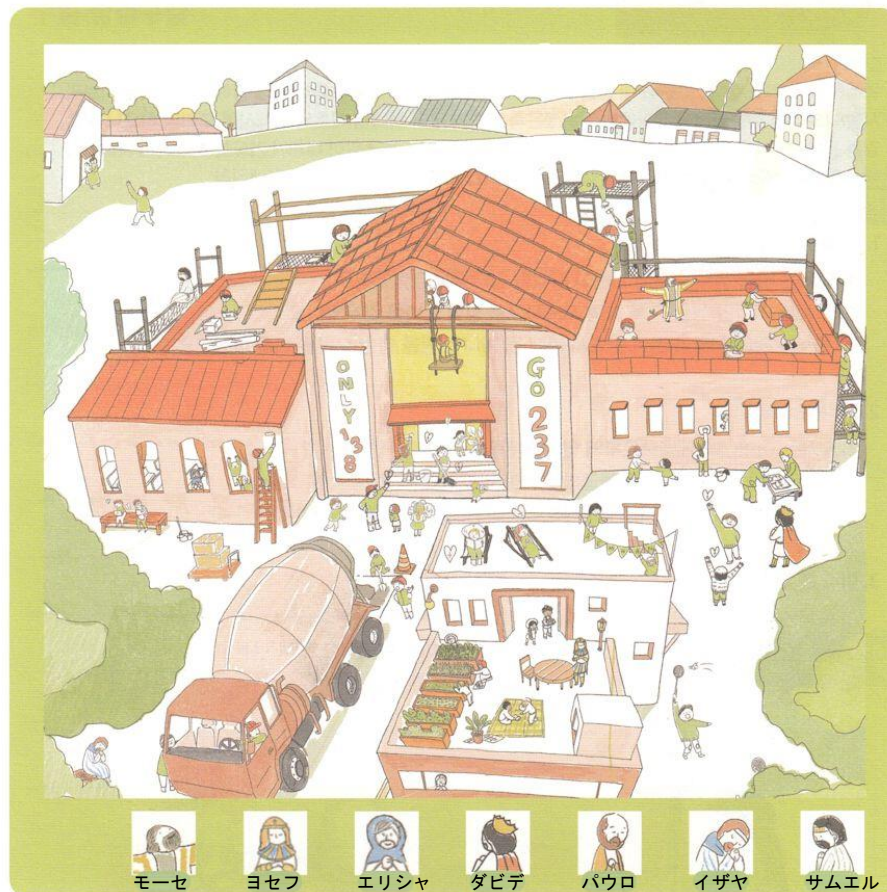
どうぶのいのり

神様、ありがとうございます。多くの問題と葛藤がありますが、契約を握って聖霊の力で時代を生かす神殿建築の主役になりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



絵をさがそう

神様が願っておられる神殿建築の現場のあちこちで、聖書のレムナントが人祈っています。レムナントたちを見つけて私たちの教会も、時代を生かす神殿建築をはじめのように祈りましょう。



- 
モーセ
- 
ヨセフ
- 
エリシャ
- 
ダビデ
- 
パウロ
- 
イザヤ
- 
サムエル



どうぶのでんどう

あひと 会う人

じゆんぶ 準備する資料
